

第1学年 道徳科学習指導案

場 所 1年1組教室

児 童 男子17名 女子10名 計27名

指導者 村上 和幸

- 1 主題名 じぶんのよさをのぼす (A 個性の伸長)
- 2 教材名 大すきだから (出典：学研「新・みんなのどうとく1」)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第3章第2節内容項目の指導観点に、第1学年及び第2学年の内容A「主として自分自身に関すること」の(4)「自分の特徴に気付くこと。」とある。これは、個性の伸長を図るために積極的に自分の長所を伸ばし、短所を改めることに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。

第1学年及び第2学年 A－(4) 自分の特徴に気付くこと。	第3学年及び第4学年 A－(4) 自分の特徴に付き、長所を伸ばすこと。	第5学年及び第6学年 A－(4) 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。	中学校 A－(3) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を充実した生き方を追究すること。
-------------------------------------	---	---	--

個性とは、個人特有の特徴や性格であるといわれている。個性の伸長は、自分のよさを生かし更にそれを伸ばし、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。児童が自分らしい生活や生き方についての考えを深めていき、将来にわたって自己実現を果たせるようにするためにも重視されなければならない内容である。

児童が自分の長所について実感し、一人一人が個性をもった大切な存在であることに付き、自分自身を大切にしながら自信をもってのびのびと生活をしていこうとする心情を育むことが大切である。

(2) 児童について

本学級の児童は、道徳の学習では教師の発問に対して真剣に考えている様子が見られる。多くの児童は自分の考えを堂々と発表できるが、一方で、自分の考えを言葉で的確に伝えられない児童もいる。

内容項目「個性の伸長」については、年間2回扱うことと計画しており、1学期に「ぼくのこときみのこと」という教材で、自分の長所について考えた。初めは自分のよさを言えない児童が多かったが、友だち同士でよいところ探しの活動をしたことで、自分の長所を言えるようになった児童が増えた。しかし、普段の生活の中で自己肯定感が低かったり、外見のみに注目して、なかなか内面のよさにまで踏み込んで考えられなかったりする児童もいる。そこで、児童の長所を積極的に認め、励まし、児童自身が具体的な場面で自分の長所にできるだけ多く気づき、実感していけるよう

な取組を日々の学級生活に意図的に設定しているところである。

(3) 教材について

本教材は、生涯にわたって大好きなことを続けた「やなせたかしさん」の姿を通して、ねらいに迫るものである。やなせさんが34歳で会社を辞めて漫画家となり、70歳でアンパンマンがヒットするまでの実話である。やなせさんが生み出したアンパンマンは児童にとって身近なものであり、児童は興味をもつと考えられる。自分を信じて好きな絵をかき続けたやなせさんの姿を通して、自分のよさに気づき、そのよさを大切にしていこうとする気持ちを育てていくことのできる教材である。

「個性の伸長」については、1学期に続いて2度目の学習となる。1学期に学習した内容を踏まえながら、より深く自分のよさや友だちのよさを考えるきっかけとしたい。

(4) 指導について

本教材は、70歳を超えてからヒット作を出した漫画家の実話であり、長い期間での人生が語られていることから、1年生の児童の発達段階から考えて、いきなり登場人物に共感しながら話し合うのが難しいことが予想される。そこで、まず、客観的にやなせさんのすてきなところを話し合い、ねらいとする価値への考えを深めていく。その際、写真を電子黒板に提示し、やなせさんの生き方に触れながら、憧れや希望を抱けるような場面を設定したい。

その後、「友だちのいいところ見つけ」の活動を通して自己を見つめさせる。児童が自分の特徴に気付く契機となるのは、他者からの評価がほとんどである。ほめられてうれしかったことが長所につながるということに、児童自身が気付くことができる。そのために「友だちのいいところ見つけ」の活動を取り入れ、他者からの評価をもとに、自分の長所について多面的に捉えさせながら、より深い自分の長所の気づきへとつなげるとともに、その長所を伸ばしていこうと考えられるようにしたい。

4 本時について

(1) 目標

他者からの評価により自分自身の長所に気づき、自分に自信をもって生活しようとする心情を育てる。

(2) ICT活用のねらい

- ・写真を提示することで児童の教材理解を助け、児童の関心を高める。
- ・導入と終末に Forms で簡単なアンケートをとり、学級全体の価値に対する実態を客観的に可視化させる。

(3) 分類方法

教師による教材の提示 (A1)

(4) 展開

段階	学習内容	指導上の留意点・評価
導入 5分	<p>1 教材への意識付けをする。</p> <p>○「自分のよさ」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走るのが速い。 ・優しい。 ・字がうまい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分にいいところはあるか」というアンケートをその場でとる。 <p>ICT</p> <p>☆Forms でアンケートをとり、学級全体の価値に対する最初の実態を客観的に可視化する。(A1)</p>
展開 25分	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">じぶんのよさってなんだろう。</p> <p>2 「大すきだから」を読んで考え、話し合う。</p> <p>○やなせさんのすてきなところを見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵が上手なところ。 ・好きなことをずっと続けたところ。 ・あきらめないところ ・楽しい漫画をかいたところ。 ・人気が出なくても頑張ったところ。 <p>3 他者からの評価をもとに、「自分の長所」を考える。</p> <p>○友だちのよさを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい。 ・お手伝いをたくさんしている。 ・元気にあいさつをしている。 ・授業中にたくさん発表している。 <p>◎自分の長所について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも笑顔なところ。 ・全力で取り組んでいるところ。 ・進んで助けているところ。 	<p>ICT</p> <p>☆写真を提示し、児童の関心を高める。また、児童の教材理解の助けとする。(A1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な視点で登場人物について考えさせ、やなせさんのすてきなところを話し合わせる。 ・ヒットするまでに長い時間を要したこと、やなせさんが大好きなことをずっと続けていたことをおさえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の長所に気付くために、他者からの評価を取り入れ、多面的に考えさせる。 ・グループで友だちのいいところをワークシートに書かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・友だちが書いたものを見て、自分のよさに気付かせる。 ・1学期に自分で記入した「自分の長所」を振り返り、比較させる。 ・自分のよさはさらに伸びていくことやよさをずっと大切にしていってほしいということを伝える。また、自分のよさはやなせさんのように様々あり、多面的であることも伝える。 <p>【評価】 自分のよさが一面的な見方から多面的な見方へ発展しているか。(ワークシート)</p>

<p>終末 10分</p>	<p>4 学習のまとめをする。 ○今日の学習を振り返り、気付いたことや考えたことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさについて気付いたことを記入させる。 【評価】やなせさんの生き方から、自分のよさについての考えを深めようとしていたか。(ワークシート) ・「自分にいいところはあるか」というアンケートをその場でとり、最初の結果と比較をする。 <p>ICT</p> <p>☆Forms でアンケートをとり、学級全体の価値に対する授業後の実態を客観的に可視化する。(A1)</p>
------------------------	--	---

(5) 評価の視点

- ①やなせさんの生き方から、自分のよさについての考えを深めようとしているか。
- ②友だちの評価をもとに、自分のよさが一面的な見方から多面的な見方へ発展しているか。

(6) 板書計画

よさは つづく
のびていく

よさを ずっと
たいせつに
していこう

ともだちのよさも
みつけていこう

1年1組のみんなの よさ || ちょうしよ

じぶんのよさってなんだろう。

写真

すてきなところは？

- ・えが じょうずなところ。
- ・すきなことを ずっと つづけたところ。
- ・あきらめないところ。

写真

大すきだから
やなせたかしさん
すきなこと・・えを かくこと

← 三十四さい

七十さい

